

2019年

# 八丁味噌仕込み桶大太鼓プロジェクト

みんなで作ろう味噌六太鼓



作業内容と参考写真

## タガ用の竹磨きと、桶板をつなぐ竹櫛づくり。

### ◆タガ磨きは

1.2mもある真竹を細く割った、箍（タガ）用の竹をみんなできれいに面取りします。

### ◆竹釘づくり

桶板同士をつなぐ竹串をカッターナイフで削ります。



## カンナ掛け

### ◆百年以上八丁味噌を醸した味噌桶を、みんなでカンナ掛け！

味噌の香りがとてもいい香り。



## タガ編み

◆味噌六太鼓の胴に、はめるタガを編みます。

タガは複雑に編み込まれていて、直径2mもある巨大なタガを編むのはとても大変ですが、現在ではタガを編める職人さんが少なくなる中とても貴重な体験ができます。



## 桶の組み立てとタガはめ

◆桶板を組み立てタガをはめ込みます。

タガを、はめ込むには、8人ぐらいで一斉に叩きながら、はめていきます。





## 桶の中に名前が書けます

◆桶の胴が組みあがったら桶の内側に入って名前や、味噌六太鼓に対する思いなどを書くことができます。



## 麻糸づくり

◆太鼓の皮を縫う麻糸を編みます。



## 太鼓の革をのぼす作業と革張（縫い作業）

◆太鼓の革の上に乗って革をのぼします。

◆手編みした麻の紐で革を編んでいきます。



## えごま油ぬり

- ◆保護と艶を出すためにえごま油塗ります。とてもつやが出て重厚感あふれる仕上がりになります。



## 家紋入れ

- ◆筆を使い、はみ出さない様に慎重に塗っていきます。



## 革と胴体の組み合わせ（ロープ張り）

- ◆太鼓の革と胴体を組み合わせてロープで縛っていきます。



## 完成！ 叩てみよう

◆百年も前に八丁味噌を醸した、桶が太鼓になって蘇りました。



## 平成 30 年 岡崎城下家康公夏まつりの様子

### ◆泰平おどり



5 年前から生演奏になった、泰平おどり（旧五万石おどり）にて、岡崎音頭・竹千代音頭・五万石おどりなどの曲に味噌六太鼓で、音頭をとりました。

とても迫力があり、盆踊り会場としては、今までにない盛り上がりを見せました。

### ◆味噌六太鼓総担ぎ



五万石みこしの各参加団体をはじめ、様々な人たちが味噌六太鼓台で、一つになることができました。

岡崎固有の物で協同することで、地元愛が育まれ誇りが生まれました。関わった皆様方一同、新たな歴史の瞬間を実感し感動を共有しました。

## 今後の活用予定

- ネオパーサ岡崎展示
- 6月1日味噌六太鼓感謝祭 市民会館開催予定
- 岡崎城下家康公夏まつり（五万石みこしフィナーレ味噌六太鼓総担ぎ）
- 家康公夏まつり生誕祭にて活用予定 岡崎公園（市民参加企画 一人打ち・廻り太鼓）
- 3月31日春の太鼓フェス活用予定 家康館前（市民参加企画 一人打ち・廻り太鼓）
- 各イベント展示、体験、 etc.